

開催日：令和 5 年 3 月 16 日

会議名：令和 5 年文教常任委員会（3 月 16 日）

○西本ちかこ おはようございます。

私からは、これまでもほかの議員からも質問があり、議事録を拝見いたしましたが、非認知能力についての取組について、質問させていただきます。

まずは、当初予算に上げられています対話型鑑賞プログラムについて、非認知能力の向上を図るためとあります。こちらにつきましては、昨年度も実施をしてこられました。昨年実施された内容と子どもたちの反応がどうだったかについて、お聞かせください。

また、児童・生徒を対象とした事業プログラムの実施とありますが、昨年と変わる点なども含めて、詳細について、お聞かせください。

また、今回、モデル校にならなかった小中学校についてはどうなるのか、次年度以降の展望についてもお聞かせください。

○和田学校教育推進課参事 対話型鑑賞プログラムについてでございます。

昨年実施した内容と子どもたちの反応についてでございます。

令和 4 年度は、モデル校の小学校 5 年生を対象に、児童が様々な芸術作品を鑑賞しながら、どこからそう思うか、そこからどう思うかなどの問いかけにより、自分の発見や感想、疑問などを共有しながら話し合う授業プログラムを実施しました。

児童の反応といたしましては、「自分の意見の根拠を考えながら発表することができました」や「友達の意見を聞いて、新しい感じ方を知りました」などの感想がございました。

次年度以降の展望についてでございます。

本プログラムについては、茨木市と京都芸術大学との連携協力に関する協定により実施をしております。次年度は、今年度に引き続き、京都芸術大学より講師を招き、中学校でも対話型鑑賞プログラムを実施いたします。

モデル校以外の小中学校につきましては、2 年間の小中モデル校の実践で得られた成果を普及してまいります。また、本プログラムは本市が進めている非認知能力の育成にもつながるものと考えております。

○西本ちかこ 子どもたちが本物に触れる機会や芸術に触れる機会は大変貴重で、日常のそういった経験の積み重ねが内面的な力や、ゆめ力にもつながることとお思いますので、引き続きの実施に感謝をいたします。

日本では、美術館に有名な作品が展示されることになると、その期間は大変、大人で混雑いたしますけれども、20 年以上前になるんですが、ニューヨークのメトロポ

リタン美術館、またスペインのプラド美術館に行ったことがあります。その際、どちらにおいても、社会見学かと思うんですが、大勢の子どもたち、小学生の子どもたちが作品の前で、ボードに画用紙を止めたものを持ち、絵を描く姿に出会いました。こういった機会が感性を育て、好きを見付けることにつながっていくのだと感じたことを思い出しました。ぜひ、こういった芸術を鑑賞する機会や、そして本物に触れる機会を、モデル校に留まらず、すべての子どもたちが卒業するまでに体験できるよう、取組を要望させていただきます。

続きまして、茨木っ子プランネクスト5.0の非認知能力の取組について、改めて、お聞かせください。

○大池学校教育推進課参事 茨木っ子プランネクスト5.0の非認知能力の取組についてでございます。

本市では、平成20年度から全市的に取り組むプランを作成し、その中で、一貫して子どもに育みたい力として、ゆめ力、自分力、つながり力、学び力の育成を進めてまいりました。

第5次プラン茨木っ子プランネクスト5.0を作成する中で、この四つの力について、これからの予測困難な社会を見据え、子どもたちに必要な力という観点で改めて議論し、茨木の子どもたちに育みたい非認知能力、茨木っ子力として新たに位置付けました。

各学校では、子どもの実態に基づいた育みたい非認知能力を明確にして、日々の授業や学校行事、日常的な関わりを通して、子どもたちが力を高めることができるよう、取組を進めております。

また、子どもたちが体験したことの振り返りや大人からのコメント等を記載したカードをファイルに綴り、成長の軌跡を残していく茨木っ子キャリアパスポートや、毎日のスケジュール管理や振り返りを通して、自己管理能力や自分の内面を理解する力を高める茨木っ子いま未来手帳の活用を進めております。

○西本ちかこ 詳細なご説明をいただきまして、ありがとうございます。

教職員の方の子どもたちとの日々の関わり方の中から取り組まれていて、4歳児から中学卒業までが記録されていくキャリアパスポートや、茨木っ子いま未来手帳を作成し、振り返ることができるというのは、素晴らしい取組だと思っております。

私も小学生のとき、通知表には成績とともに、先生からのうれしいことも、そうでないこともなんですが、一言メッセージがありました。今、ネット社会で時代が超スピード化し、知りたい情報も、そうでない情報も入ってまいります。すぐに調べることができる時代、子どもたちが忙しい日々を過ごしていると思います。気持ちに向き合う時間や考える時間、成績だけでなく、そういった気持ちを学校の先生や家族に認

めてもらえたら、どんなにうれしいかと思います。

子どもたちとの関わり方については、教職員の先生によることが大きいと思いますが、これまでも教職員の方々に対する研修をしてくられておりますが、新任の教職員へも研修や引継ぎはなされているのでしょうか。

また、教職員が子どもと接する上で気を付けられている点についても、お聞かせください。

○大池学校教育推進課参事 子どもの関わり方に関する新任の教職員への研修についてでございます。

新任の教職員には、初任者研修において、本市がこれまで大切にしてきた一人も見捨てへん教育の理念や、子どもの非認知能力を育む取組等について伝えて、共通理解を図っております。併せて、新任教職員のスキルアップにつながるよう、児童・生徒理解や集団づくり等に関する研修も行っております。

また、市主催の研修だけではなく、学校体制の中で、新任教員が先輩教員から子どもとの関わり方を学ぶ、同じ学年教員間で悩みなどを相談し合う、子どもたちの様子を職員会議等の場で交流することなどを通して、子どもたち一人ひとりを理解し、関わっていくことの重要性を学んでおります。

教職員が子どもと接する上で気を付けている点についてでございます。

自校の子どもたちに育みたい力について、教職員が共通認識を持ち、教育活動に当たることを大切にしております。また、子どもたちがそれらの力を発揮できる教育活動の工夫を行うことや、子どもの成長について、結果だけを見るのではなく、仲間とともに取り組む姿や粘り強く取り組む姿と活動のプロセスを大切にすることを心がけております。

○西本ちかこ では、これまで学校の日常的な取組のほかに取り組みされている、または取り組まれた非認知能力育成につながる多様な体験の機会はありましたでしょうか。

○大池学校教育推進課参事 非認知能力育成につながる多様な体験についてでございます。

小学校では、地域の方に戦争の話を聞く取組や、まち探検の学習において、地域に出て話を聞くなど、地域人材を活用した学習を行っております。また、小学校5年生の銭原キャンプ場における自然宿泊体験等の体験活動を実施しております。

中学校では、府の学習プログラムを活用し、市内企業等を招き、SDGsについての自分たちの考えをプレゼンテーションする学習や、地域の企業での職場体験等の取組を行っております。

日常的な授業や学校行事を基本としながら、学校の実態に応じて、これら多様な取組も取り入れながら、非認知能力育成の取組を進めております。

○西本ちかこ 小学校では、地域の方に戦争の話聞く取組や、また、まち探検の学習において、地域に出て話を聞くなど、地域人材を活用した学習や、また小学校5年生の銭原キャンプ場における自然宿泊体験などの体験活動が行われていることや、中学校では、府の学習プログラムを活用しての茨木市内の企業を招き、SDGsの取組についてお聞きし、自分たちの考えをプレゼンテーションするという場を持たれているということを初めて知りました。すばらしいことだと思います。

また、地域の企業での職場体験などの取組が行われていることも分かりました。

本物に出会う、お話を聞く機会は貴重な機会だと思いますので、これからも全校に広げて行っていただきたいと思います。引き続きの取組をよろしく願いいたします。

最後に、子どもたちの非認知能力の伸びを実感できる機会はどのような場で感じておられるでしょうか。

○大池学校教育推進課参事 子どもたちが非認知能力の伸びを実感できる機会についてでございます。

子どもたちが意欲や主体性を発揮できるよう、授業や学校行事では、目標を明確にして取り組む機会やグループでの活動、プレゼンテーション等、自分の意見を表現したり他者の意見を受け止める機会の充実を図っております。

それらの活動の中で、目標の達成に向けて努力できたときや仲間とつながりながら学び、お互いのよさや頑張りを認め合うことができたとき、教職員や保護者等の大人から結果だけではなく、その過程における頑張りを認められたときなどに、子どもは成長を感じることができると考えております。

○西本ちかこ コロナ禍の3年、教職員の方々や担当課におかれましては、本当に大変な中、子どもたちの学びの場に一生懸命お取り組みいただきましたことに感謝いたします。

この3年、子どもたちにとっても本当に気を付けながらの学校生活だったと思います。茨木っ子力を育む取組が、知らない間にいつの間にか根を張り、養われ、伸び伸びと楽しく学校生活を送りながら培われていくよう、引き続きの取組と、様々な体験の場を提供いただけるように要望させていただきまして、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。